



拝啓、会員様 ~森協会長のひとこと~

先月17日、恒例の新年例会が盛大に開催されました。たくさんのご来賓の皆様と諸先輩の皆様のご臨席を賜り、後半戦のスタートを飾るに相応しく素晴らしい例会であったと思います。担当の総務委員会の皆さん、お疲れ様でした。

我々はあのようにたくさんの方々にご支援をいただきながら活動をさせて頂いています。すべての会員が今一度その事を肝に命じ、感謝の気持ちを忘れずに・・・我々の【成長】を以て恩返しをさせていただきます！

ちょっと聞いてや!!

早くも2月となりました。皆さん如何お過ごしでしょうか？少し前の話で恐縮ですが、私は毎年正月に箱根駅伝を見るのを楽しみにしています。今年は我が母校「明治大学」が約半世紀ぶりに3位に入賞する活躍!! 古豪復活を強く印象づけました。

多くの選手の汗を吸い込んだ母校の襷を「次へ繋げる」。その姿にいつも感動いたします。

中央会では第37期も7ヶ月が経過した今、森協会長を筆頭に、各委員会の委員長が「成長」しながら日々の活動を行っています。単年度事業の中央会ではありますが、37年間、先輩方から繋がってきた襷の重さを日々感じる毎日です。

さあ、今期も残りわずかです。今かけているその襷を次の方へしっかりと繋いでいきましょう!! (専務理事:岩田 剛)

厄落としの会

平成24年1月28日(土)勝田神社に於いて、毎年恒例の厄落としの会が開催されました。

今年は前厄1名、本厄4名、後厄4名の9名が参加されました。神事は参加者の氏名、生年月日を読み上げられ玉串の奉納へと続き、滞りなく終了しました。

その後、懇親会会場の海潮園に場所を移し、オブザーバー2名を含む9名で懇親会(悪魔祓い)が開催されました。開催の挨拶はもちろんこの方、岩田専務理事。「本日は皆でしっかりと厄を落としましょう!」のご発声で乾杯し懇親会がスタート、次々と儀式が進むことにヒートアップする悪魔祓い、予定の時間を延長するほど楽しい時間を過ごし互いの親睦を深めつつ皆で1年間の無事を折り閉会、記憶に残る厄落としの会となりました。

た。是非、会員の皆様も1度参加されてみてはいかがでしょうか。(記事:盛政)



1月度委員会報告

人間力開発委員会
平成24年1月12日(木)於:味空間こうりん坊 出席者/14名
議題/・役員会報告
・新入会員オリエンテーション反省会
・松江YEGとの交流事業経過報告
・会員拡大について ・その他

地域ビジョン委員会
平成24年1月11日(水)於:焼肉うえば 出席者/15名
議題/・役員会報告
・12月例会反省
・下期打ち合わせ
・会員拡大について

政治経営委員会
平成24年1月11日(水)於:米子市公会堂会議室 出席者/15名
議題/・役員会報告
・2月例会について
・その他

広報委員会
平成24年1月11日(水)於:レストランぶどうの木 出席者/17名
議題/・役員会報告
・ハンサム発行について
・DM実践について
・その他

総務委員会
平成24年1月11日(水)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/19名
議題/・役員会報告
・1月新年例会について
・会員拡大について
・その他

2月役員会報告

2月役員会が平成24年2月2日(木)米子食品会館にて開催されました。
当日の主な議題は以下の通りです。
・1月新年例会報告 ・2月例会企画案(審議)
・3月例会企画案(協議)
・その他
*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

2月例会案内

と き:平成24年2月15日(水) 19:00~21:00
と ころ:米子全日空ホテル
テーマ:「~どげにかしよいや~鳥取県総合特区構想」
担 当:37期政治経営委員会

編集後記

新年例会の取材では、写真撮影を担当しました。しなやかな書道パフォーマンスや、飛び道具まで登場したフレアパーティーなど難しいシーンの連続でした。今後も場数を踏んで、会場の空気を感じていただける写真が撮れるよう頑張ります。(記事:徳尾)

新入会員

(広報委員会)
足立 駿 O型
南足立ふとん店
寝具・インテリア販売
〒684-0056 境港市幸神町358
TEL 45-0336 FAX 45-5296
(KT) 090-3990-8016
(EM) adachifutonten@vanilla.ocn.ne.jp
S 57.05生

(コメント)
この度入会させていただきました有限会社足立ふとん店の足立です。祖父の代から寝具専門店として60年以上境港市で営業させていただいています。
若輩ですが皆様にご指導いただき、自己啓発につとめて参りたいと思います。

巻頭記事

1月新年例会開催

厄落としの会

OB訪問

(米)米子中井橋

岡本康朋OB(第27期ご卒会)

1月例会を終えて

総務委員会 委員長 福庭 貴志

連載 拝啓、会員様

~森協会長のひとこと~

特集 企業紹介

(株)サントウエイ 中村 友紀
医療法人 同愛会博愛病院 小西 達彦
連載

おすすめビジネス本 土岐 哲己
私のおすすめの一品 牧田 継夫

委員会訪問 人間力開発委員会
中央会を振り返って 石川 達也・増井 幸一

ちょっと聞いてや!! 専務理事 岩田 剛
2月例会へ向けて

政治経営委員会 委員長 谷口 弘毅

相互理解と協調

2012.2 No. 281

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 森脇 哲雄

編集責任者/担当 副会長 小川 敦弘 制作・編集 37期広報委員会/委員長 松尾 友雄 印刷所/東京印刷(株)

1月新年例会開催!!

平成24年1月17日
ホテルサンルート米子



新年の幕開けに相応しく、肅々とした雰囲気にも包まれるなか、ご来賓、OB会員の方々をお招きし1月新年例会が開催された。開会后、新入会員の足立駿会員にバッチが授与され力強く抱負を語られた。

オープニングセレモニーでは、米子西高等学校書道部と鳥取岳風会(桶村清子OB会員、須山裕文副会長、後藤公平副会長)による書道吟が披露され、「晴れやかな素晴らしい年に」との意を込め、新年祝いの詩を吟じられた。



引き続き、開会の挨拶を森協会長よりいただいた。「17年前の今日が阪神淡路大震災、昨年の大雪による被害、そして東日本震災と自然災害の恐ろしさを感じずにはいられない1年であった。自助・公助・共

助の精神で復興支援を継続していきたい。第37期では「成長」という難しいテーマを掲げているが、小さな積み重ねを繰り返し、目標をもってすすめていきたい。」と述べられ、1月新年例会の幕が開けた。

ご来賓を代表し、平井伸治鳥取県知事、赤沢亮正代議士、宇佐見明OB会長よりご祝辞をいただいた。「厳しい状況であるからこそ団結が必要で、「とっとり」を打ち出す1年にしていきたい。」との知事のお言葉に、われわれも経済団体の一員として、まさしく「団結」することの必要性を感じた会員も多かったのではないだろうか。

鏡開きにうつり、当会第33期ご卒会、湯原俊二代議士のご発声で乾杯を行い、賀詞交歓会が盛大に開会された。



歓談では、青年中央会らしく至るところで賑やかな空気につつまれ、鳥取県地産会ブースの「いただき」「ホルモン焼きそば」に舌鼓を打ち、各テーブルでは会員同士やOB会員との交流する姿が見られた。アトラクションでは、新入会員が扮する獅子舞

の披露と、恒例の新入会員の自己紹介が行われた。



ふたつ目のアトラクションでは、前田兄弟によるフレアパーテンディングがあり会場の盛り上がりは最高潮に達した。世界の技とカクテルに酔いしれ熱気も冷めやらぬなか、ここでサプライズ。野坂康夫

米子市長と森協会長ご両名にステージへ上がっていただき、前田兄弟のご指導のもとフレアパーテンディングが始まった。予想通りの珍? プレーも飛びだし



し笑いが絶えないなか、野坂米子市長の中締めで賀詞交歓会は終始和やかな雰囲気

で終了した。最後に、担当委員長である福庭総務委員長から閉会の挨拶があり、大成功のうちに1月新年例会は幕を閉じた。(記事:高塚)

1月例会を終えて...

昨年11月より準備してまいりました新年例会を無事終えることが出来ました。多くの方よりねぎらいの言葉をいただきましたが、今回は皆さんに楽しんでいただくことを目的としておりました。新年例会リーダーの千石会員に叱られるかもしれませんが、準備の苦勞よりも開催する楽しみの方が上回っていたのが実際のところ

総務委員会 委員長 福庭 貴志

さて、米子西校書道部と鳥取岳風会の皆さんによる書道吟に始まり、フレアパーテナー前田兄弟の特別出演というサプライズもありました。中でも、ほぼおまかせで舞っていた新入会員による元気な獅子舞が本当に見事でした。

新入会員の皆さんをはじめ、新年例会にご協力いただきました皆様に御礼申し上げます。

2月例会に向けて



皆さんこんにちは!政治経営委員会委員長の谷口です。今回の例会のテーマは「〜どげにかしょい〜鳥取県総合特区構想」と題して、2月15日(水)に米子全日空ホテルにて開催します。当委員会が去年の11月のオープン委員会にも取り上げました鳥取県総合特区構想を題材にして、地元発とゆう事で当委員会メンバーが考案した総合特

区構想を鳥取県商工労働部産業振興総室の方々を迎えて、当委員会メンバーとパネルディスカッションをします。当委員会からどんな総合特区構想が出て来るのか、ぜひ楽しみにして下さい!例会に向けて只今、準備真っ最中です。少しでもよいものを会員の皆様に見て頂きたくて、まだまだ内容を練っています。私自身が今までの担当例会作りで、これほどにも紛糾した経験がない例会になってます。どんな例会に仕上がったのか?ぜひ会員皆様の多数のご出席をお待ちしています。
(政治経営委員会 委員長 谷口 弘毅)

企業紹介

株式会社 サンイントウエイ
中村 友紀

コラボコース料金	
スタンダードコース	プレミアムコース
お一人様 ¥3,500 (税別)	お一人様 ¥4,000 (税別)
お二人様 ¥6,500 (税別)	お二人様 ¥7,000 (税別)
お三人様 ¥9,500 (税別)	お三人様 ¥10,000 (税別)
お四人様 ¥12,500 (税別)	お四人様 ¥13,000 (税別)
お五人様 ¥15,500 (税別)	お五人様 ¥16,000 (税別)
お六人様 ¥18,500 (税別)	お六人様 ¥19,000 (税別)
お七人様 ¥21,500 (税別)	お七人様 ¥22,000 (税別)
お八人様 ¥24,500 (税別)	お八人様 ¥25,000 (税別)
お九人様 ¥27,500 (税別)	お九人様 ¥28,000 (税別)
お十人様 ¥30,500 (税別)	お十人様 ¥31,000 (税別)

平成23年11月1日に株式会社U・Iカンパニーを設立しカラオケボックススパイラルを12月27日に炉端かば鳥取店3Fにオープンしました。

カラオケスパイラルでは「炉端かば鳥取店の料理が食べれる」を付加価値に歌えて飲み放題と最高の時間を提供し満足して頂ける上、コラボコースもご用意しており皆様に満足してもらえるボリュームのサービスをご用意しております。各部屋10名以上入室できる上、パーティールームは40名以上入室可能で各宴会や結婚式二次会など様々なシーンでご活用できます。
山陰地域では顔を見ない方法での運営となりますが炉端かばさんを始めた皆さんの企業ご協力の元、革新的な運営展開を実現することができました。このチャンスを成功に導きいい形で地元活性の一部になればと思います。これから「山陰で一番評価の高いカラオケボックス」を目指し誰でも楽しめる店舗をお客様と社員一同一緒に作っていきたくと思います。

企業紹介

医療法人 同愛会博愛病院
小西 達彦



博愛病院は、鳥取県米子市両三柳にあります急性期病院です。当院の歴史は古く、大正10年に設立され、鳥取県西部の中核病院として急性期医療を担ってきました。診療科

としては、産婦人科、小児科、内科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、麻酔科、皮膚科などの診療科を有し、また、関連施設として、介護老人保健施設「やわらぎ」、訪問看護ステーション「博愛」、指定老人福祉施設「博愛苑」があり、後方支援体制をもった急性期病院として、まさしく「ゆりかごから在宅」まで、地域に密着した医療を提供しています。
最近では、高性能のCT装置や最新のマンモグラフィを導入し、治療はもちろん、検診についても地域の皆様の健康管理に貢献しております。
今後も、我々同愛会博愛病院職員一同は、地域のため、患者様のため、誠実で、親切な、心の通う暖かい医療を提供してまいります。よろしくお願いたします。

おすすめビジネス文庫

紹介者:土岐 哲己 会員

「君の背中を押す言葉」

千田 琢哉 著



「すべて「フライング」しろ。」
皆さん、今年韓国テグで開催された世界陸上で「フライング」の一発失格が目玉を浴び、論議されたことはまだ記憶に新しいと思います。この本は、「フライング」という言葉を使って行動力を身につけるヒントをちりばめた内容となっています。「20代のうちに」という限定的な表現も帯にはありましたが、読んでいくうちに、これは青年中央会の活動に通じるものもあると感じました。
「フライング」から生ずる良い意味での効果や失敗を、様々な事柄について書いてあり、若いうちにこそできる事をしようと思える内容です。そして結果的にこの記事を書くにあたり、腰を上げるのが遅かった「自分の背中を押してもらった」のは間違いない効果です。

私のおすすめの一品

牧田 継夫



皆さんは「数字」の持つ力について考えた事ありませんか?好きな数字や縁起の良い数字、どうしても合わない数字などなど、様々な経験の中に数字が存在したりしていませんか?今回は「オススメ」とまではいきませんが、興味深い本として「[魂の目的]ソウルナビゲーション」を紹介させていただきます。

これは運動数に基づく、自分の様々な特徴・素質・運命・アドバイスなどが書かれた本ですが、この中に「人生の周期」が書かれています。9周期でサイクルするとのことですが、実際に自分自身が資格試験を目指し合格した年、独立への準備期間とした年、独立開業し青年中央会に入会した年などがピタッと周期にハマっていたもので、年の初めや進む方向性を見失った時に読み返したりしております。

自分は「人生に偶然はない」と考えるほうの人間ですが、この本を読んで、数字の持つ力に翻弄され、人生観を見失わないように気をつけたいと思います。

中央会をふりかえって...

石川 達也 会員
(H16.07入会)



「OB受付はあちらです」と声を掛けられ「あの〜新入会員です」と返事をした、30周年事業の総会時に入会して早8年。本当にOB受付へ案内される年を迎える事になりました。

私の中央会活動の5年は広報系の委員会に在籍しましたが、取材等を通し様々な会員・OB会員さんとお話しになる機会が多かったことは大変貴重なことでした。また、一番の思い出は32期のメディアコミュニケーション委員会。副委員長を受け委員長共々経験も浅く試行錯誤で委員会活動をしたこと思い出しますし、普段一人で仕事をしているので、上に立って人を動かすことを学ばせていただきました。
あまり目立つ存在ではなかった私ですが、広報委員会の委員長・副委員長を経験させていただき、また35周年事業実行委員会、今期の青経連の実行委員会にも声をかけていただき大変感謝しています。残り数ヶ月ですが、さらに色々なことを学んで卒会したいと思います。

中央会をふりかえって...

増井 幸一 会員
(H10.05入会)

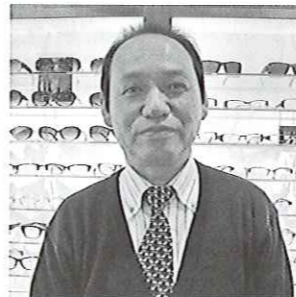


長いようで短かったという、ありきたりの言葉ですが、本当にそのままです。「まだ、15年もあーだかー、なげーな〜」
入会当初、先輩にそう言われて不安でしたが、ここは、中小企業の経営者を育てる会であることは、皆様もご存じだと思います。ほかの環境ではありえないようなことを勉強させていただき、OBの皆様や会員の皆様に教えて頂いたことは「感謝」の二文字ではお礼に足りません。入会当時の私は、建設現場の担当者で経営や経済に関しては、全く興味ありませんでした。

しかし、わからないままにも中央会の活動に参加し、考え方の違う人に刺激を得て、視界が広がり、いろんなことに興味を持てるようになり、自分の中で何かが変わっていくのが解りました。それまで、自分の中で自分の「ものさし」を持っていた私でしたが、毎年所属委員会も変わったりで、出会いがあるたびに新鮮で、楽しく、後々為になることを沢山教わりました。
どうしようもなかった私が、いろんな責任を持たせて頂いて教わった数々のことに、お礼の言いようがありません。大切な仲間もでき、一生の宝物です。
本当に感謝申し上げ、残りの現役会員としての活動に全力を尽くすとともに、いつまでもお力になれるように自己の研鑽に努め、教わったことを社業に生かしてまいりたいと思います。
いつまでも.....「やらいや〜」

OB訪問

嵯米子中井脩
岡本康朋 OB (第27期ご卒会)



今回は第27期ご卒会の嵯米子中井脩 岡本康朋OBを訪ねました。パソコンに向かわれ大変お忙しい所にされておりましたが、キーボードの手を止め快く取材に応じていただきました。
はじめに入会当時のお話を伺いました。「今でも強烈に覚えているのは忘年例会での余興のために他の新入会員と一緒にカラオケに行き、ピンククレディーの振り付けを一生懸命練習したこと。」と懐かしそうに語られました。

続いて総務委員長をされた時のお話では「25周年にあたる年で、一年を通して様々な催しがあった。とても大変だったが一番印象に

残る年だった。」そして「25周年記念レクリエーション例会の運動会では航空自衛隊米保基地グランドを借りたが、民間に貸し出すのは初めてとの事でとても規制が多い中、会員はもちろん、お子様、奥様にも楽しんでもらえる事は何かを一生懸命考えた。また集合写真撮影のための高所作業車を始め、運動会に必要な様々な器具を会員企業で揃えることができ、中央会は本当に心強く凄いなと改めて感じた。」と語られました。

最後に現役会員へのアドバイスとして、「中には気の合わない人もいるだろうが自分に無いものを持っている人だと考え、避けて付き合っていく。必ず自分のためになるはず。また現在でも当時の会員と集まって酒を飲んでいる。長く付き合える友人を作るためには積極的に様々な活動に参加しよう。」とアドバイスを戴きました。岡本OBは現在でもトライアスロンのボランティア部に参加されるなど精力的に活動をされておられます。本当にありがとうございます。(記事:西村)

委員会訪問

~人間力開発委員会~

平成24年1月12日(木)角盤町「味空間こうりん坊」に於いて行われた、人間力開発委員会1月委員会にお邪魔しました。当日は森脇会長と岩田専務理事が同席しての開催でした。役員会報告と上半期委員会収支報告と質疑応答を行った後、松江YEG 交流事業について検討しました。スケジュールの確認を行った後、会対会の相互理解の為に双方の概要と活動履歴を披露し合う事が必要であり、その参考資料として『30周年記念事業DVD』の映像を鑑賞し、改めてPR手法を練り直す事を確認しました。

次に昨年12月20日に行われた「上半期新入会員オリエンテーション」について、アンケート等で得られた反省点を踏ま

え、改善案を織り込んだ次回下半期分を検討しました。今回の訪問を通じて気付いたのですが、当委員会は徹底した情報の周知と意思統一、活動精度を高める事を心掛けている様です。

委員長と副会長の意思疎通が自然に行われ、その思いの方向へ数名のサブリーダーを中心とした会員達が積極的に動き答えるようとする、そんな隙のない雰囲気醸成されていました。その真摯な姿は、他委員会の模範に成り得ると感じました。(記事:長谷川)

